

# 全国養護教諭連絡協議会 第30回研究協議会

## 主題「時代の変化に対応した養護教諭の役割を追究する」

～ 養護教諭が学校保健活動で育む子供たちのウェルビーイング ～

- ・ 期日：令和7年2月14日（金）
- ・ 会場：ニッショーホール
- ・ 開催方法：会場開催
- ・ 参加者：563名

### 開会式

### <祝辞>



(全日本中学校長会事務局長 富士道 正尋 氏)

### <挨拶>



### <挨拶>

全国養護教諭連絡協議会会長  
(公財) 日本学校保健会専務理事

辻野 智香  
弓倉 整

### <祝辞>

文部科学省初等中等教育局  
健康教育・食育課課長  
全日本中学校長会会長

郷家 康德 氏  
青海 正 氏

## 特別講演

# 「スポーツに取り組む子供たちの今と 未来の健康を守るために」

独立行政法人日本スポーツ振興センター

ハイパフォーマンススポーツセンター

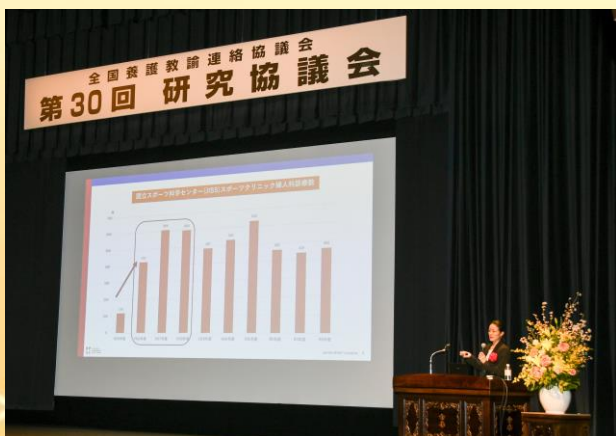
国立スポーツ科学センター 産婦人科医

能瀬 さやか 氏



## 参加者の感想

- スポーツに取り組んでいる、いないにかかわらず思春期の子供たちの問題として学ぶことが多くありました。無月経やPMS、骨密度などの新しい情報を得ることができました。
- 一般の女性にも起こりうる月経の問題を取り上げていただき、10代のうちからの性教育や栄養指導が大切だと感じました。
- 月経に伴うトラブルが将来の健康に関わってくることがよくわかりました。
- 近年問題となっている内容でしたので参加させていただきました。職場に戻ってから体育科の先生や部活動の顧問に伝えようと思います。



## 基調講演

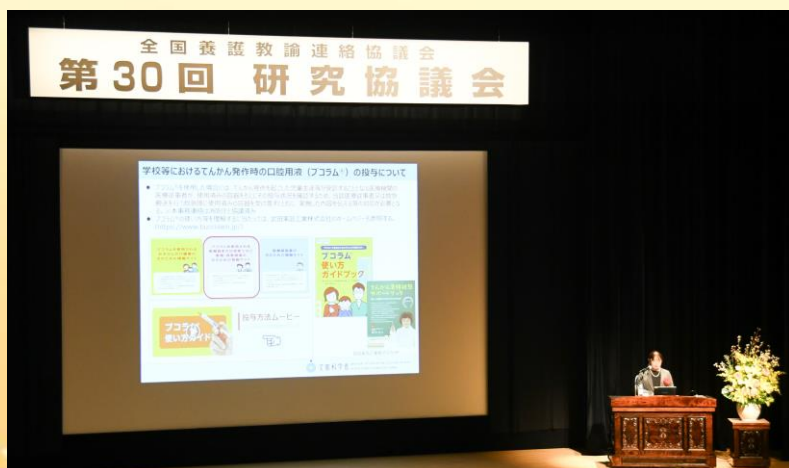
# 「これからの学校保健と 養護教諭に求められるもの」

文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課  
健康教育調査官 川畑 千種 氏



### 参加者の感想

- 基調講演は、常に新しい正確な情報が多いので楽しみにしています。普段執務に追われる中、マニュアルや事務連絡など見ているようで理解できていなかったことに気づきました。
- 毎年なんとなく行うようになりがちな健康診断について、意義や学校保健計画への位置づけなど再確認することができました。
- 職務が多岐にわたるからこそ、計画をしっかりと立てて働く必要があると感じました。
- 多様化する健康課題への対応や外部との連携の重要性について再確認することができました。学校運営に養護教諭の専門性を活かしていこうと思います。



# フォーラム

## 「子供たちのウェルビーイングを高める 養護教諭の取組」

～今こそ問われる養護教諭の専門性を考える～

### コーディネーター



北海道教育大学  
理事・副学長 渡部 基氏

### シンポジスト



千葉県白石市立  
白井第一小学校  
校長 岩崎 順子氏



広島市教育委員会  
学校教育部 健康教育課  
保健・安全係  
主任指導主事 山根 由加里氏



静岡県駿東郡小山町  
南寿堂医院・院長  
学校医 岩田 祥吾氏

# フォーラム



## 参加者の感想

- 養護教諭として、根拠、記録、分析、見立て、全体を見るなど自分に不足している部分を確認でき、とても良い刺激を受けることができました。
- シンポジストの皆さんのお話や会場からの声、それを受けての渡部基先生のお言葉に涙が止まりませんでした。
- ウェルビーイングを高めるためには子供たちのために何ができるのかを考え、養護教諭だけでなく、学校関係者や関係機関との連携を図り、いろいろな視点から子供を捉えて支援していくことが大切だと思いました。
- 養護教諭の抱える悩みや問題にどう向き合っていくか、前向きに捉えていくかを考えさせられました。校内では一人職ですが、全国で同じように悩み考え、もがきながら、真摯に養護教諭の職務と向き合っている人がいることに元気をもらい、背中を押される時間となりました。

**次回、第31回研究協議会は2026年2月13日（金）に開催予定です  
皆様のご参加をお待ちしております**

